

2014年度 前期

モジュールテーマ名「コミュニケーション実践学」

参考文献リスト表記方法

①著書の場合

著者名、出版年、本の題名、出版社

文教町子 (2002) 『教育マネジメント理論』伊予出版
Dannelles, S. W. (1990) *Theory of Peer Education*. New York: Root Books

②論文が学術雑誌に掲載されている場合

著者名、出版年、論文題名、論文が掲載されている雑誌名、雑誌の巻数・号数、掲載ページ

松山花子 (2000) 「20世紀美術鑑賞の教育技法」『芸術教育』21号, pp.35-47
Thow, M. (1989) "Development of Changing World." *Journal of Sociology*, vol.98, pp.45-50

③論文が論文集に掲載されている場合

著者名、出版年、論文題名、論文集の編著者名、論文が掲載されている論文集名、出版社名、掲載ページ

愛大太郎 (2008) 「愛媛の芸能」道後二郎 (編) 『愛媛の歴史と文化』愛大出版会, pp.35-45
Brown, C. (2007) "Computer supported cooperative work." In M. Smith (Ed.), *Human-Computer Interaction*, London: ABC Press, pp.45-50

④インターネットの場合

資料名、サイトの管理団体・組織名、サイトアドレス、検索日、公式サイトに限る

「平成17年度大学・大学院における教員養成推進プログラム選定プロジェクト一覧」, 文部科学省, http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/kaikaku/kekka/htm (2006.5.15)

H26 対人世界の心理学

プレゼンテーション用ルーブリック

【採点方法】合計得点を換算する
 13点-15点 : 評価5
 10点-12点 : 評価4
 7点- 9点 : 評価3
 4点- 6点 : 評価2
 1点- 3点 : 評価1

	3	2	1	0
内容 ①調査 ②テーマに沿っている	十分に調べられている	調べられている	不足している	全く不足している
構成 ①論理性 ②適切な量	十分、論理的に構成されている	論理的に構成されている	論理的な構成が少し不足している	論理的な構成ができていない
資料 ①文字の大きさ ②図表の的確さ	十分に説得力のある資料である	説得力のある資料である	説得力が不足している	説得力がない
発表姿勢 ①視線 ②声量 ③スピード	堂々と聴衆を見ながら声量も十分に適切なスピードで発表できている	視線や声量、話すスピードともに一定のレベルに達している	視線、声量、話すスピードを改善する必要がある	発表態度全体を大きく改善する必要がある
発表時間	時間配分が適切である	ほぼ時間内である	時間が少し超過している、あるいは少し短い	時間が大幅に超過している、あるいは大幅に短い

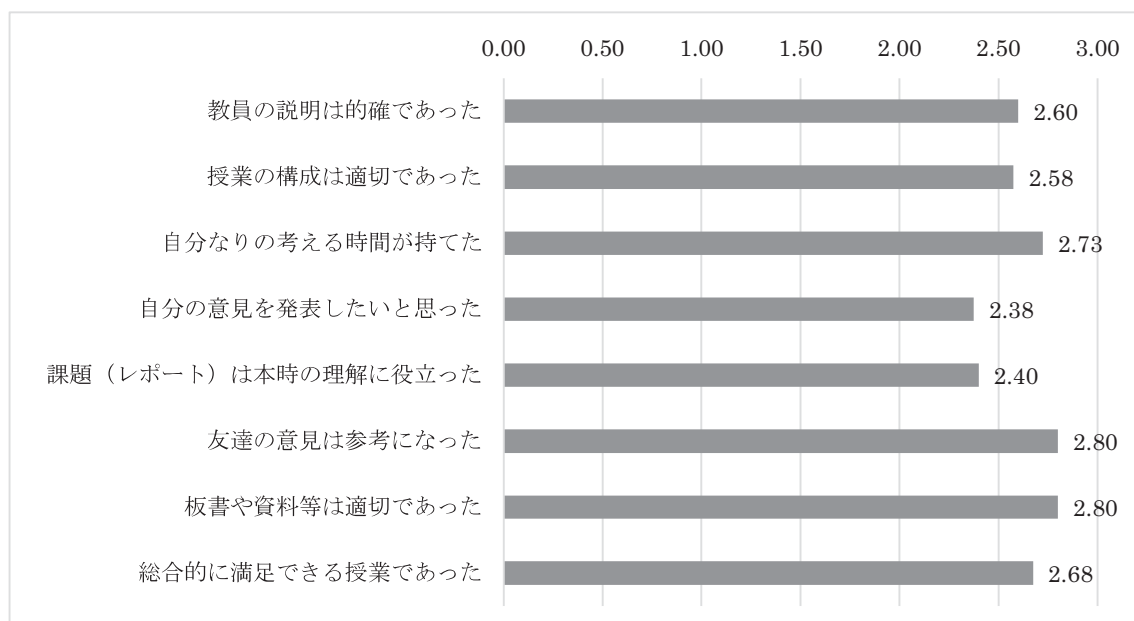
H26 対人世界の心理学
レポート作成用ルーブリック

	5	4	3	2	1	0
課題に対する記述	課題に対する解答が的確で、過不足なく網羅して書いている。	課題に対する解答は書いているが、一部に解答と関係ないことも書いている。	課題に対する解答が一通り書かれているが、改善すべき点がある。	課題に対する解答を部分的には書いているが、的確ではない。	課題に対する解答を書く点としていがあるが論点にズレがあり、テーマに対する解答として十分ではない。	課題と関係ない内容を書いている。
論理的構成	結論に至るまでのプロセスが整理され、前後関係や必要かつ十分に貫き、論理的に書いている。	結論に至るまでのプロセスは整理されるものの論述に重複がある。	結論に至るまでのプロセスは一貫しているが、前後関係の論述に改善すべき点がある。	結論に至るまでのプロセスはたまたどれが、前後関係や論理性が十分ではない。	結論に至るまでのプロセスが整理しきれしていない。	結論に至るまでのプロセスを示していない。
レファレンス資料 (着想を得たものや自分の考えを支持するための先行研究や文献、データ)	レファレンス資料の選択が的確であり、過不足なく参照できている。	レファレンス資料の選択が妥当で、参照できている。	レファレンス資料を示そうとしている方法や長さに改善すべき点がある。	レファレンス資料を示そうとしている方法が、引用・参照方法に間違いが見られる。	レファレンス資料を参照していることが、示していない。	レファレンス資料を使っていない。
文章の体裁	①段落が適切に作られている。 ②句読点の付け方が適切である。 ③主部と述部の対応にねじれがない。 ④文体が統一されている。	文章の体裁の項目中、3点ができている。	文章の体裁の項目中、2点ができている。	文章の体裁の項目中、1点のみできている。	文章の体裁に配慮しようとしているが、不十分である。	文章の体裁が整えられておらず、読み進めることができない。
表現の推敲	①同じ言葉の繰り返しや多用がない。 ②誤字・脱字がない。 ③仮名使い・送り仮名の誤りがない。 ④専門用語を正しく用いている。	表現の推敲の項目中、3点ができている。	表現の推敲の項目中、2点ができている。	表現の推敲の項目中、1点のみできている。	表現の推敲をしようとしているが、不十分である。	表現に間違いが多く、推敲が不十分である。

2014.6.13 配付

対人世界の心理学 2014.06.06 EC カード集計結果

【有効回答者数 40 名】



3点：強くそう思う， 2点：そう思う， 1点：そう思わない， 0点：全くそう思わない

授業の良かった点、悪かった点

＜授業内容：感想＞

- ・ 私は、人前で絶対に自分の意見とかいったことがなかったんですけど、初めて少しですけど、言うことができた、ほんの少しだけ成長できた気がしました。この授業を取って本当によかったです。
- ・ どの班のテーマに関して詳しく調べており、また、どんどん質問していて感心しました。討論やプレゼンに対する苦手意識がなくなってきて、楽しくなってきました。
- ・ 前期も折り返し地点ですが、この授業で、もっと自分の力を引き出していきたいです。
- ・ 授業でこれほど討論したことがなかったので、新鮮でした。
- ・ 活発に議論できたときもあったので、こういった授業は有意義なことだと思った。
- ・ みんなのプレゼンのレベルが高かった。討論っぽい雰囲気教室になってきたと同時に自分の集中力も高まって来て、授業をおもしろいと思えた。
- ・ 議論が白熱していて、とても楽しく充実した授業になりました。
- ・ とても興味のもてる内容ばかりで、本当に充実した授業でした。
- ・ とても有意義な時間でした。

- ・ とても白熱した議論の環境づくりありがとうございます！！

＜授業内容：議論、討論について＞

- ・ 今日の授業ではみんなの意見、発表を聞いてただただすごいなと感じました。私ももっと意識を高く持って発表したいです。
- ・ みんな発表もわかりやすかったし、それについての質問をすることで理解が深まったので良かったです。
- ・ 口論みたいになってすごかった。
- ・ みんなのプレゼンを聞いて、議論が起こったり、楽しかった。
- ・ それぞれの班の発表とその質問と意見を聞いていて、みんな詳しく説明していたし、その質問がたくさん飛んでみんな意見を言い合うというのがすごく討論っぽくて楽しかったです。すごく参考になりました。
- ・ いろんな班の発表を聞いて、また質問を聞いて、疑問に思うことや納得できることなど考えながら聞くことができました。
- ・ 他の班の意見を聞くことができてよかった。また、自分でいろいろ考えることができた。

対人世界の心理学 調査結果 (2014.06.06 実施)

- ・ 質問コーナーで議論が白熱して良かったと思う。
- ・ それぞれのプレゼンの発表や質問が的確で良かった。ハイレベルなのかなと思った。
- ・ 最初の班の議論していた内容はとても興味深く、面白いなと思った。どれが良いというのはないのではないかと思います。
- ・ 難しい議論が続いて頭を使いました。
- ・ リハーサル不足が結果に出してしまった。
- ・ 発表の仕方は難しいと感じました。でも少しずつですが、発表をやってみたくと思いました。
- ・ 対人関係での「問題焦点型」について7班に質問が集中していたが、恋人にそんなストレスはそもそも与えてはいけない。

<授業内容:発表の反省点について>

- ・ 自分の調べたところをうまく発表できなくて悔しかったです。
- ・ 質問にうまく答えられなかった。
- ・ 質問に適切に答えられないのは、とても悔しい思いをしました。自分たちは分かっていることを他の人に説明するのは難しいと思いました。
- ・ 発表をやりきったことが良かった。しかし、質問に完全な回答が出来るほどの理解が出来ていなかった点、思っていることを言葉に出来ていない点が悪かった。

<授業内容:時間配分について>

- ・ もっと議論を深めたかったです。みんなで議論したいです。
- ・ もっと聞きたいこととか知りたいことがいっぱいあったけど、時間的に厳しいところがあったことが残念。
- ・ 楽しかった。もっと言い合うことができればいいなと思った。発表時間をもっと長くして欲しい。
- ・ 自分が質問する班(3班)がよく調べられていたので、質問・意見が浮かびました。もっと質問する時間があればいいなあと思いました。
- ・ 討論がとても盛り上がり、楽しく勉強できた。少々腑に落ちないまま、質問を終えたが追究したらもっとすごい討論になったと思った。
- ・ 講義の終わりの方に議論が活発になって面白かった。最初の方からもっと議論になれば良いと思う。

<授業内容:質問体制について>

- ・ 互いに意見を言い合えることがとても楽しかった。

今後する際は全てのチームに対しての質問を考えたいと思う。

- ・ 自分の班が発表した後に自分の班が質問もできるというのは、たくさん意見が言えるのでいいと思ったが、逆にない発言がない班もあったので、改善できたらいいなと思った。
- ・ 質問担当の班以外からも質問ができたのが良かったです。よりよい議論になったと思います。

<授業内容:次週に向けて>

- ・ 今日の授業はいろいろな意見を聞くことができて良かったです。発表が出来なかったのが残念です。Gender すごく分かりやすかったです。
- ・ 発表ができなくて残念だった。
- ・ 自分たちの班まで発表し終わりがかったが、次こそがんばっていききたい。
- ・ 今日、自分たちの発表をしたかったのですが、他の班の発表がすごく熱かったですね。本当にみんなの意見を聞いて勉強になりました。来週がんばります。
- ・ 来週に持ち越しになりましたが、発表がんばります。
- ・ 来週の発表、質問がんばります。
- ・ 今日は発表することができなかったのが、残念でした。
- ・ 来週、がんばります。

<その他>

- ・ 自分の意見を言える人が結構いて良いと思いました。
- ・ みんな思っていること、考えていることを言葉にするのがとても上手だと思いました。とても聞くのが面白いです。
- ・ 質問や内容が想像以上に難しく理解が大変でした。
- ・ 発表の内容がわかりにくい点もあって少し混乱しました。
- ・ 質問が長すぎて理解できなかったのが困った。
- ・ 調べたことをしっかりと発表できたのでよかったです。他の班の発表で興味深いものが何個かありました。
- ・ マイクが少ないから発表する班の人が質問する班の人とのコミュニケーションは難しくなってしまう。時間の無駄になると思います。

担当教員への質問および要望

<授業への質問>

- ・ おそらく著者もそこまで言及していない内容部分を他班に質問された場合、その著者の大まかな内容だけまとめている班員はどう答えたら良かったのでしょうか。
- ・ 7班の発表で質問したいことができなかった。長くなるので、LACS にあげますね。

<授業への要望>

- ・ グループ発表の回数を増やしてほしいです。

<テストについて>

- ・ テストってスライドのレジュメがあればできますか？

<その他>

- ・ 心理学、やっぱり好きです。学部変更したいです。
- ・ 今日は涼しかった。
- ・ 今度は、クーラーがちょっと寒かったです。
- ・ 梅雨のじめじめに負けないでがんばっていきましょう。
- ・ 梅雨に入って雨ですっきりしませんね。
- ・ 先生、裸眼だったので、ホワイトボードを見ると、細目にしてがんばっている姿が女子だけどキュンとしました。

平成26年度 対人世界の心理学

子ニマ⑩【企業経営者No.1】

Table with 4 columns: No., Name, Position, Date. Lists 45 individuals in the 'Enterprise Management No. 1' category.

朝日新聞 “フロンティアナー” 切抜タイトル一覧

子ニマ⑪【特定非営利活動法人・研究者・奨励者】

Table with 4 columns: No., Name, Position, Date. Lists 45 individuals in the 'NPO/Researcher/Encourager' category.

子ニマ⑫【専門職者】

Table with 4 columns: No., Name, Position, Date. Lists 35 individuals in the 'Specialized Professionals' category.

子ニマ⑬【芸術・芸能】

Table with 4 columns: No., Name, Position, Date. Lists 45 individuals in the 'Arts/Entertainment' category.

子ニマ⑭【芸術・芸能・スポーツ】

Table with 4 columns: No., Name, Position, Date. Lists 45 individuals in the 'Arts/Entertainment/Sports' category.

1日3千億田のお金が動く株式などのトレーディングフロアで。この躍動感が好きだ―東京・大手町



フロントランナー

野村ホールディングス
社長兼CEO

わたなべ けんいち
渡部 賢一さん (57歳)

目指すはアジアの投資銀行

過去にしがみつくと嫌いな上司にも顧客にもごびない。そんな生き方を貫いてきたがゆえか、通称「ナベケン」が発する言葉には力が宿る。

「温故知新なんてウソ。昨日の続きで明日も考えない。世の中は常に変化しているから」

投資銀行の世界では、意思決定の遅れが命取りにもなりかねない。2008年9月、経営破綻した米リーマン・ブラザーズの欧州、アジア部門の買収を数日で決断。約8千人の旧リーマン社員を一気に受け入れた。

野村は過去に何度か海外事業の拡大を図ったが失敗してきた。「同じ歴史を繰り返すのか」という周囲の懸念にも「顧客は国際化しているのに、それに応えるサービスや商品が野村になかった。それでは国際競争に勝てない」と意を介さない。

神戸で生まれ育った。学生時代は大学近くの神戸寺で半年、寄宿生活を送った。本堂の屋根裏部屋に7、8人で暮らした。朝6時に起床し、ほぼ毎日座禅をくみ、京都の大本寺にも修行に出かけた。修行僧に交じって勤めに励む姿を買われ、僧侶から「坊主にならんか」と言をかけたこともあった。

株に興味を持ち、大学から推薦された都市銀行への就職話をかけて野村証券へ。支店長や海外駐在の経験はないが、ニューヨーク証券取引所への上場や事業再編などで経営者の右腕として実務を切り盛りしてきた。

「独特の相場観がある」。リスクを見極め、商機を見いだす才能に、周囲からはこなし声も漏れる。その持ち味は00年代の日本の金融危機で生きた。

財務担当役員だった08年。米国事業の失敗や系列ノンバンクの巨額損失で経営危機にあった

が、複数の銀行の支援を取りつけて短期間で不良資産の処理を進めた。前後して日本の銀行や証券会社の信用力が落ち、ドルの調達にも苦しんだが、海外を行動して外貨をかき集め、日々の決済を乗り切った。自社の資金繰り難を察知されないように、職場を出入りする記者の前では「部下に買ってきてもらったスポーツ新聞を上げて余裕を演出していた」。

ガリバー、巨艦、盟主――国内で揺るぎない地位を築き、この形容される野村だが、指揮官の目には、滅点主義がはびこり、向こう傷をこけて帰ってくる社員が減って組織に躍動感が欠けてきたように映る。

「仲良しこよしの協調性なんていいない」。保守性を打ち破ろうと、リーマン買収を契機に一部社員の報酬体系を改め、欧米流の成果主義を取り入れた。昨春秋には、成果を残した28人に対し、役員と同じ権限と肩書を与えた。そのうち19人は外国人が占める。

もともと、リーマンは世界を危機に陥れた「強欲集団」の象徴。社員が再び目先の利益に走り過ぎれば、今度は野村自身が批判を浴びかねない。拡大路線の一方で、経営者としてのリスク管理能力が問われている。

部下からの報告は、急を要するものを除いてメール。1日90本程度を処理するが、最近では英文が増えた。昼夜を問わない着信だ。睡眠時間は平均5時間と減る一方だが、「面白い仕事はつまらぬものもない。そんなもんじゃいけない」。目指すのはアジアを代表する投資銀行だ。

悲願に向かかって、後ろは振り返らないと決めている。

文・都留智史 写真・郭允

b3面に続く

ご意見・ご感想は be@asahi.com

